

## 埋設型再帰反射式道路鈺

## ジスロン フラットマーカ―

この度は当社のフラットマーカ―をご採用いただき、誠にありがとうございます。  
 本製品は交通安全を目的とする付属施設として設計されています。  
 製品機能が十分に発揮されるように、本取扱説明・施工要領書をよくお読みの上、  
 正しくご使用くださいますようお願いいたします。  
 ※ 工事店の方へ：本取扱説明・施工要領書は工事終了後、ユーザー様へお渡しください。

## I. 取扱説明



警告

誤った取扱を行うと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

誤った取扱を行うと、人が傷害を負ったり、物的損害が想定される内容を示しています。

## ◆ 使用上の注意



注意

本製品は交通安全を目的とする付属施設として設計されています。  
 他の目的や用途には、使用しないでください。

## ◆ 設置上の注意及びその他の注意



注意

1. 本製品は、車両のヘッドライトの光を受けて再帰反射を行い、ドライバーに注意喚起を促します。したがって、製品の反射面を車両方向に向けて設置を行ってください。
2. 本製品の設置には、深さ50mmの路面の掘削を必要とします。設置場所に水路やその他の埋設物がないことを確認した後で、掘削・施工を行ってください。
3. 設置環境により機能低下が進む場合があります。設置後、定期的に点検を行ってください。
4. 本製品の仕様は、機能・品質改良のため予告なく変更する場合があります。

## II. 施工要領

## ◆ 準備

準備していただく機械・工具・材料等	使用目的
○カラーコーン、工事用バリケード	作業員の安全確保
○コアカッター：外径φ160mm(内径150mm) (φ150~170mmのコアであれば施工可能)	コア抜き
○電動ブレーカー	路面掘削
○ハンドミキサー	モルタルの練り混ぜ
○左官ごて	仕上げ
○ウエス、スポンジ	コア内の水抜き
○清掃用ブラシ	路面及びフラットマーカ―の清掃
当社プレミックスセメント（別売、10kg/1梱包） *1袋でフラットマーカ― 6基 施工できます。	フラットマーカ―の埋設



注意

・埋設用充填材は、当社プレミックスセメントをご使用ください。  
 普通セメントやエポキシ系の充填材をご使用になると、強度不足で本体が埋没したり、  
 がたつきが発生するなど不具合を生じる原因になりますので使用しないでください。

- ・気温が5℃以下のときは施工を行わないでください。セメントが硬化不良を起こしたり、強度不足になります。
- ・降雨時、降雪時は施工を行わないでください。セメントの硬化不良、クラックの発生により強度不足になります。

※当社プレミックスセメント  
 (施工温度に応じた品種をご使用ください。)

施工温度 5~20℃ : 品種 CRSP-CEM-W

施工温度 20~35℃ : 品種 CRSP-CEM-S

## ◆ 施工の流れ

TR00052

① 安全確保

② コア抜き

③ コア内の水抜き

④ 仮置き

⑤ プレミックスセメントの練り混ぜ

⑥ プレミックスセメントの打設

⑦ 本体の埋設

⑧ 仕上げ

⑨ 養生、交通開放

### ① 安全確保



カラーコーンや工事用バリケードを用いて、作業員の安全を確保してください。また必要に応じて交通規制を行ってください。

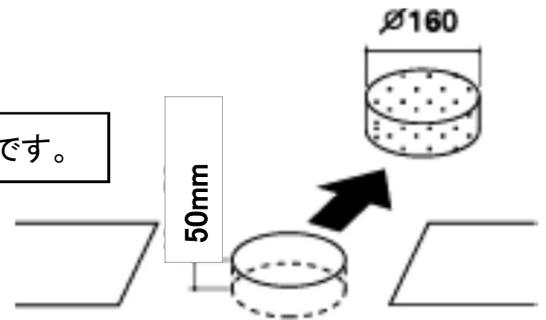
### ② コア抜き

外径がφ160mmのコアカッターを用い、コア抜きをします。

コア径φ150~170mmであれば施工可能です。深さは50mmです。



コアの深さを50mmにしてください。深くあけすぎると、プレミックスセメントが足りなくなる恐れがあります。ご注意ください。



### ③ コア内の水抜き

スポンジやウエスを用いてコア内にたまった水分を十分に取除いてください。必要に応じてバーナーで乾燥させてください。



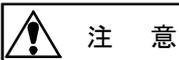
### ④ 仮置き

フラットマーカ本体が、コア穴内におさまることを確認してください。製品が路面から出ることがあれば、穴の深さが足りません。深さ50mmになるように掘削してください。

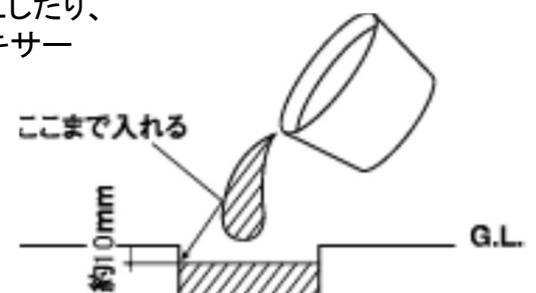
### ⑤ プレミックスセメントの練り混ぜ

当社のプレミックスセメントを使用してください。プレミックスセメント1袋(10kg)に水1.8リットルを徐々に投入し、ハンドミキサーで十分に練り混ぜてください。プレミックスセメント1袋でフラットマーカ6基施工できます。水と混合した後、使用できる時間は約30分ですので注意してください。

プレミックスセメント1袋に 水1.8リットル  
使用できる時間 : 約30分



・水量は必ずを守ってください。水量を間違えると硬化不良を起こしたり、強度不足の原因になります。また、練り混ぜには必ずハンドミキサーを使用してください。

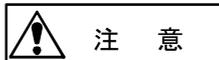


### ⑥ プレミックスセメントの打設

掘削した穴に配合の終わったプレミックスセメントを流し込みます。路面から10mm下まで流し込んでください。

## ⑦ 本体埋設

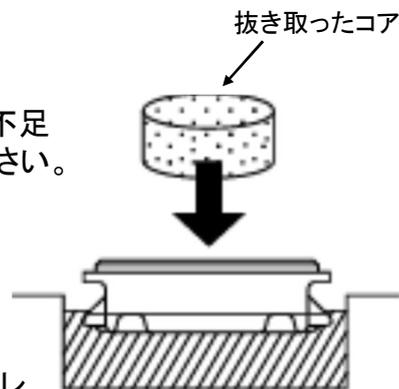
プレミックスセメント打設後、製品に貼ってある<反射方向シール>に従って向きを確認した上で、製品の四方の突起部分を持って、これが路面に密着するまで製品を左右に回転させながら徐々に押し込んでください。その後、こぶしなどで製品に振動を与え、プレミックスセメントを十分に充填させてください。製品が浮き上がってくる場合は、抜き取ったコアを重りがわりに上に載せてください。



注意

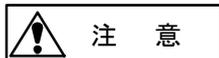
1. 埋設する際、反射方向に十分ご注意ください。

2. このとき、路面からプレミックスセメントがあふれない場合はその量が不足しています。一旦製品を引き抜いてプレミックスセメントを追加してください。
3. 路面の凹凸により、製品が路面以下になることがあります。路面の状況に合わせて、製品ががたつかないように調整してください。



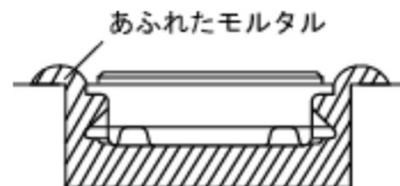
## ⑧ 仕上げ

製品と穴の隙間をこて等で仕上げてください。また、隙間からあふれたプレミックスセメントをワイヤーブラシやスポンジできれいに取り除いてください。仕上げを行った後に製品上面のマスキングフィルムをはがしてください。



注意

路面以上にプレミックスセメントが盛り上がると十分な再帰反射が得られません。反射前部に盛り上がった場合は必ず取り除いてください。



## ⑨ 養生・交通開放

プレミックスセメントを練り始めてから、下記時間以上養生してください。その後、製品が確実に固定されていることを確認した後、交通開放を行ってください。

### 養生時間

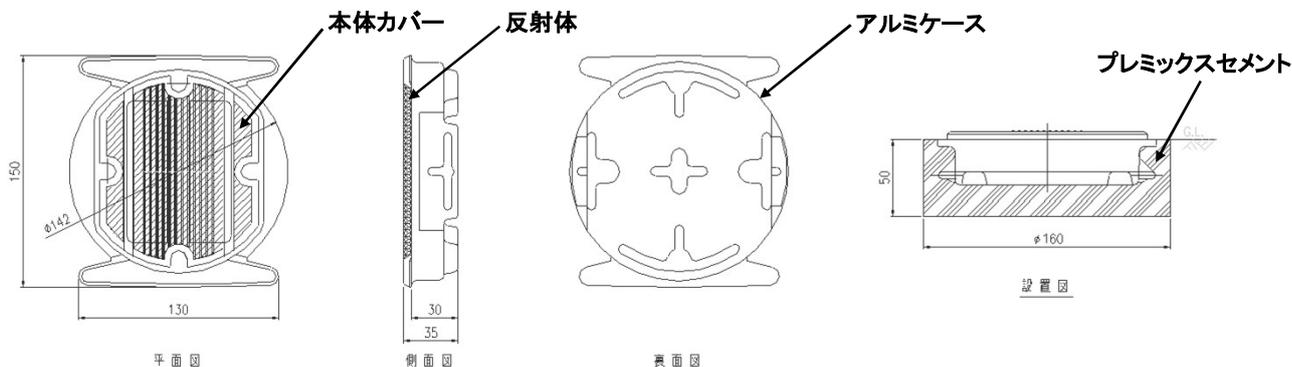
施工温度 5～20℃ (CRSP-CEM-W) : 2.0時間以上  
 施工温度 20～35℃ (CRSP-CEM-S) : 1.5時間以上



注意

上記時間以上必ず養生してください。

養生時間前に交通開放を行った場合、製品にがたつきが生じたり、路面から抜けるなどの危険性があります。養生時間を厳守してください。



**sjc 積水樹脂株式会社** 交通安全対策事業部

〒530-8565 大阪市北区西天満二丁目4番4号(堂島関電ビル6階)

TEL(06)6365-3244